

KDKニュース



KDK三つの原則

1. 開拓伝道であること
2. 教会を建てあげること
3. 聖書信仰に立つ、教団、教派との協力

国内開拓伝道会

発行人 泉田 昭
〒352-0011
埼玉県新座市野火止4の8の28
電話 048-202-1500
FAX 048-202-1501
振替 00140-6-57493
No.120 2017年12月

「新しい、しかし古くもある伝道のツール」

KDK委員 ティム・セラランダ



「きょうダビデの町で、あなたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」(ルカの福音書一・十二)

このクリスマススイブ、いのちのことば社、太平洋放送協会(PBA)、Christian Broadcasting Network(CBN)や数多くの教会が協力して「スーパーブック最高のプレゼントをゲット」はじめてのクリスマス」を放映します。これは子供向けのアニメであり、クリスマスの物語を伝えていきます。十二月二四日の午後五時三〇分にBS11で全国で、午前八時三〇分にTOKYO MXにて関東地方で放送予定です。

私の知る限り、これらの局がキリスト教の番組を放送することに合意したのはこれが初めてです。皆さんの教会や開拓教会が、このツールを伝道のために活用できることを願っています。日本の家庭の七二%がBSに加入し、日本の家庭の二六%がTOKYO MXを受信することができます。それゆえこの取り組みのポテンシャルは計り知れません！

皆さんのクリスマス・アウトリーチの一環として、これらの放送を利用してください。皆さんの日曜学校の子供たちに見てもらおうように勧め、友達に伝えるようにしてはどうでしょうか。または、皆さんの教会がBSに加入している場合は、BS11の午後五時三〇分に、すべての近所の子供たちにスーパーブックを見てもらうことができます。ほとんどの教会ではクリスマス礼拝、十二月二十四日にはクリスマス祝会があります。今年、近所の子供たちと一緒に「スー

パーブック最高のプレゼントをゲット」はじめてのクリスマス」を見ることは、イエスの誕生のお祝い締めくくる最適な方法ではないでしょうか！

私たちは、日本の子どもたちが、クリスマスはケイやサンタクロースではなく、私たちの救い主の誕生を祝う時だと知って欲しいのです！

しかし、この新しいスーパーブック伝道ツールについて特に興味深いのは、その歴史です。

一九八〇年代初めに私が日本に来たときに、いのちのことば社や米国のCBNがアニメ聖書シリーズ「アニメ親子劇場」「トンデラハウスの大冒険」「パソコンラベル探偵団」を制作し、日本で放送していました。CBNは日本語シリーズを英語に翻訳し、「Super book」と命名し、世界中に放送しました。

日本は、多くの伝道的な資源を海外から日本に導入したことで恩恵を受けて来ました。しかし、「アニメ親子劇場」では、日本は世界の教会を後押しする素晴らしいツールを提供することができました。それは日本の教会が誇りに思うべきことです！

CBNは最新の「スーパーブック」を日本に持つてきました。彼らは原作を基にした新しい英語シリーズを作ってくれたのです。そして、いのちのことば社の助けを借りて、それを日本語に翻訳しました。ことば社はシーズン1 DVDセットを販売しており、シーズン2セットをリリースしたのです。

一九九五年のオウム真理教事件以来、ラジオやテレビにキリスト教の番組を流すことは非常に困難なことでした。それでも、主はこの二つの場所において私たちに恵みを与えて下さいました！是非、クリスマスの真の意味を多くの子供たちとその家族に伝えるために、この新しい(しかし古い)伝道的なツールを用いましょう。

(TEAM 宣教師、太平洋放送協会 常務理事)